

コード No. 10161

**Anti-Human  
Rad 51 (1B1) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100  $\mu$ g

- 
- はじめに : DNA 間の相同性の検索とその交換反応は、原核生物では **RecA** が、真核生物ではその相同タンパク質である **Rad51** が中心的な役割を果たしています。  
**Rad51** タンパク質は **ATP** に依存して一本鎖 **DNA** と結合し、右巻きのらせん構造をもつヌクレオプロテインフィラメントと呼ばれる構造を形成し、相同検索-交換反応を行なう事が知られています。
- 免疫抗原 : Recombinant Human Rad51
- 起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ  
(X63-Ag8.653×BALB/c マウス脾臓細胞、培養上清由来)
- クローン名 : 1B1
- サブクラス : IgG<sub>1</sub>
- 精製方法 : Anti-Mouse IgG による特異精製
- 包装形態 : 1%BSA, 0.05%NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加
- 希釈例 : 1% BSA, 0.05% NaN<sub>3</sub> 含有 PBS
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8°C 保存 5 年間安定  
: 溶解後 -20°C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 1  $\mu$ g/ml にて使用可能
- 特異性 : Human Rad51 transfectant にて確認
- 参考文献 : 1. Shinohara A. et al. Homologous recombination and the role of double-strand breaks. *Trends Biol. Sci.* **20**: 387-391 1995
- 参考文献 : 2. Kowalczykowski S. C. et al. Homologous pairing and DNA strand-exchange protein. *Annu. Rev. Biochem.* **63**: 991-1043.1994